陽明文庫講座

2020年
2月15日
13:00～16:30

主催：公益財団法人陽明文庫、京都府立京都学・歴彩館
共催：東京大学史料編纂所
科学研究費補助金（基盤研究（S））「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展—知の体系の構造伝来の解明」
（研究課題番号：17H00617　研究代表者：東京大学史料編纂所 教授　田島 公）
科学研究費補助金（基盤研究（A））「探探家伝来史料群の研究資源化と伝統的公家文化の総合的研究」
（研究課題番号：17H00926　研究代表者：東京大学史料編纂所 教授　尾上陽介）

会場：京都府立京都学・歴彩館 大ホール

府民総合案内・相談センター
Tel:075-411-5000　Fax:075-411-5001　E-mail:411-5000@pref.kyoto.lg.jp

お申し込み

京都府立京都学・歴彩館（京都学推進課）Tel:075-723-4835

※お申し込み詳細は裏面へ
公益財団法人陽明文庫（理事長：近衛忠輝、文庫長：名和修）は、1938年（昭和13年）に当時の内閣総理大臣近衛文麿（近衛家29代当主）が、仁和寺の北西部に設立することに始まりました。藤原道長の自筆日記「御園関白記」、国宝・世界文化遺産「世界記念彫刻」、名筆の集大成である「大手鏡」（国宝）等、五撰家の筆頭である近衛家が、宮廷文化の中にとどまりながら、優れた文献として保存・収蔵しています。近衛家に伝来した歴史的・伝統的な文化財、古文書、典籍その他の物品を保存管理するとともに、これらの調査研究により、学術上、社会教育上の効用を供し、わが国の歴史や美術の研究の進展に寄与来てきました。

陽明文庫所蔵史料は科学研究費補助金事業として東京大学史料編纂所に研究拠点を置く研究プロジェクトにより、その電子データ化や高精細デジタル画像の撮影が継続して行われています。2014年からは東京大学史料編纂所の協力で京都府立京都大学・歴彩館の専用閲覧室でもデジタル画像の閲覧が開始されました。2017年からは両図書館の協力で陽明文庫所蔵資料の数々をご紹介します。各大学の学生や在職者が公開した形での講座になりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

2月15日 日明文庫講座
FAX 応募用紙 FAX番号 075-411-5001

※印は必須項目です。

※ふりがな
※代表者名

該当するものに〇をつけてください（一般/学生）

※住所 Ｄ－

※電話番号 （ ） FAX （ ）

メールをご利用の方は、下記内容をご記入の上、件名に「2月15日陽明文庫講座申し込み」と記載してお申し込みください。411-5000@pref.kyoto.lg.jp

※応募時にご記入いただいた個人情報は、本講座に関するご連絡のみに使用いたします。
※ご記入いただいた内容に不備がある場合、ご参加いただけないことがありますので、応募時にはご注意ください。
※参加証ハガキを持っておいでの方のみ入場可能となります。参加証ハガキは代表者の方へお送りします。

障害等のため、設備・設備保護等の配慮が必要な場合は、申し込み時にお知らせください。

講座開催2日前になっても連絡が届かない場合は、お電話にて京都大学・歴彩館までお問い合わせください。